



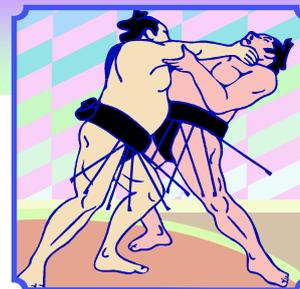
- Link “新風”

第 31号
(通算 第 124号)



いよいよ夏本番の季節がやってきました。新型インフルエンザも、やっと落ち着いてきましたが、皆さん、体調はいかがですか。来期に向けて、力を蓄え、今年も、暑い暑い夏をのり切りましょう！！

「今期も終盤」



今期第38期も余すところ2ヶ月となりました。世界同時不況の荒波に巻き込まれそうになりながら何とか踏みとどまっている、土俵でいえば徳俵に足が掛かり必死に踏ん張っているところです。今期立てた計画に遠く及ばずの結果に経営者として内心忸怩たる思いがあります。会社は、トップの器以上に大きくなれないことを痛感しているところです。月並みですが、迎えたこのピンチを将来への飛躍のチャンスとして頑張ります。

社員諸氏も現状を的確に認識し、来期(第39期)は、良い成果を出し納得のいく40周年を迎えられるよう尽力願いたい。当たり前前の方が当たり前前ができるようにして、徳俵から土俵中央まで押し返したいものです。

今、幹部諸君が取り組んでいる未来創造経営塾も最終局面に入り中長期経営計画を完成させる時期に入っています。この経営塾では、経営とは何かに始まり、外部環境、顧客、ライバルとポジション、自社の強み・弱みの4つの現状分析から事業戦略づくり(勝てる場の発見)や経営戦略づくり(勝てる条件づくり)を行い、自社の経営理念、組織・人材、マネジメント、財務の分析・検討を経て中期経営計画、年度経営方針を作成しようと進めているものです。誰でもが理解しやすいビジョンとしたいものです。私は、この経営塾を通して、幹部同士が意思の疎通を図り有機的な組織づくりをすることや部員たちと現状を見つめ合って会社の未来を語り合うことなどを期待しているわけです。また、この経営塾の活動の中で、今までと意識を変え真摯に取り組む将来を任せられる人を育てる場でもあります。会社の行く末を最終的に決定するのは社長ですが、その決定するための適切な情報を幹部が進言することは極めて重要なことです。どうかトップを裸の王様にしないよう頼みます。社員の幸せのために大局観を大いに養って欲しいものです。

私どもは、設計、組立、製造など外部の支援を受けています。経営コンサルタントもその一つです。会社の中にいる我われでは気付かない点を多くの知見を持っている外部の方から指摘していただくことは大変重要なことです。私どもは、言われたことだけをやるのではなく、言われたことを反芻し加工しさらにその先を行動できてこそはじめて自分の血となり肉となるということを理解しておく必要があります。凡そ指摘される事項はそんなことは分かっているということが多いかもしれないが、出来ないから指摘される、当たり前前の方ができていないから言われるということを肝に銘ずべきでしょう。また、自論と食い違う場合や分からないことは率直に発言すべきです。要は、謙虚になるという心がけが大事だということです。

今期のスローガン「意識を変え！やり方を変え！業績を変えよう！」は、来期まで掲げていきます。この意識を徹底的に我われの身体に染み込ませ、日常の仕事に活かして成果を上げていかなければなりません。



今期、わが社のホームページから問い合わせをいただいた件数は、昨年、一昨年と比べ殆ど横ばい状態ですが、貴重なお引合いも数多くあります。来期は、目標件数を倍増できるよう更に改善を進める必要があります。ご覧いただいた外部の方々や当社社員の意見も反映させることが大事でしょう。

5S活動も成果を上げ、見学していただけるまでになりましたが、現状に止まることは許されなく、更に“魅せる工場づくり”とは何か？を求めてもっともっと進化していかななくてはなりません。後戻りは厳罰！の意識で前進しよう。

この7月1日～3日に東京ビッグサイトでインターフェックスジャパン、10月21日～24日インテックス大阪で粉体工業展大阪2009と、今年度は二つの展示会に出展します。大きな投資ですので関係者は、成果目標を明確にして実り多き実績を挙げるよう死に物狂いで戦って欲しい。

夏がもうそこまでやってきました。会社の環境整備も勿論ですが、どうか自己管理を徹底し健康に留意してください。

社長 赤堀肇紀